

五台小学校 田植え体験

農業科二年

五台小学校の子供たちと田植えを一緒に行ったことで、多くのことを学ぶことができました。

一つ目は、「教える」ということです。小学生と合流する前は、何となく簡単だろうと考えていましたが、実際に教える場面になると全くできませんでした。一見簡単そうに思えましたが、子供たちに「教える」ことはとても難しかったです。

二つ目は、「関わり方」です。小学生と高校生では年齢が違います。話し方など多くのことを工夫しながら関わらなければいけません。どうしたら心を開いてくれるのか、楽しんでもらえるのかと考えながら関わることで、貴重な体験になりました。

こうした体験は、とても貴重なものだと思います。農業高校ならではの田植え体験を小学生の皆さんが行うことができ、楽しく、とても光栄に感じました。本当にありがとうございました。



笠間稲荷神社御田植祭

五台小学校田植え体験

御田植祭

農業科三年

コロナ禍ということもあり中止の心配もありましたが、昨年に引き続き、水農生が早乙女として笠間稲荷神社の神事「御田植祭」に参加させて頂くことができました。感謝の気持ちでいっぱいでした。水農ではどの学科の生徒も手で田植えをしますが、学校外で田植えをしたことはなかったのが緊張しました。また早乙女の衣装はかなりきつかったのですが、その状態での田植えは大変でしたが、伝統的な催しに参加し、貴重な体験ができました。コロナが終息したら更に地域との交流を深めていきたいと感じました。

歴史ある御田植祭の早乙女という役目は次世代に受け継ぐべき大事な行事だと思えます。この伝統を後輩にも必ず引継いでいってもらいたいと思います。また、私自身これからも農業高校生として地域のイベントに参加し、新たな農業を広めると共に伝統的な農業を守っていききたいです。



ゆたか保育園 読み聞かせボランティア

食品化学科三年

読み聞かせボランティアに参加して、子どもたちと接することで感じたことがあります。

それは、子どもたちの素直な心と体の底から湧き上がる力強さです。普段、幼稚園生くらいの歳の子たちと接することがなく最初は不安でしたが、子どもたちの自分のしたいことを素直に言える純粋な気持ちが、私のことも素直にさせてくれました。また、パワフルな子どもたちに必死についていくうちに、自分も楽しく活動に取り組むことができました。

この体験を通して素直な気持ちで接することで、相手も素直な気持ちにすることができ、前向きな気持ちや力強さが周りにも伝わり、活発にしていけることを知ることができました。



なるみ園との交流会

園芸科三年

私は農業研究部に所属しています。部活では規格外のイチゴを使用した生パスタの商品開発と販売を通じて、農業が抱えている規格外野菜の問題や、SDGsについて啓蒙活動を行っています。

規格外イチゴのヘタを取る作業をしている時に、単純な軽作業は福祉の分野との連携ができるのではないかと考えました。そこで地元の障害者支援施設なるみ園との交流会を企画しました。交流会ではイチゴのヘタ取りを一緒にやり、おいしいクレープを作りました。作業は問題なく行うことができ、農業と福祉の可能性を感じることができました。

利用者の皆さんとの楽しい交流会を通じて、学校の生活だけではわからない、様々な人が社会に存在することを知りました。私たちは、学校が地域社会の中心を担っていきけるように、これからも活動を続けていきたいです。